

2010年3月16日

ファイザー株式会社
「点眼方法に関する実態調査」
参考資料

- I.調査設計
- II.調査結果のまとめ

—この件に関するお問い合わせ先—
ファイザー株式会社 製品広報部

I. 調査設計

1. 調査の目的

緑内障など成人の目の病気が多く発症する 40～60 代について、正しく点眼できているかどうか実態を把握する。

2. 調査内容

・調査対象: 40～60 代の男女、1,200 サンプル

	男性	女性
40 代	200	200
50 代	200	200
60 代	200	200

※病院で処方された目薬を同時に複数さした経験がある人

- ・調査方法: インターネットアンケート調査
- ・その他: すべて病院で処方された目薬について質問

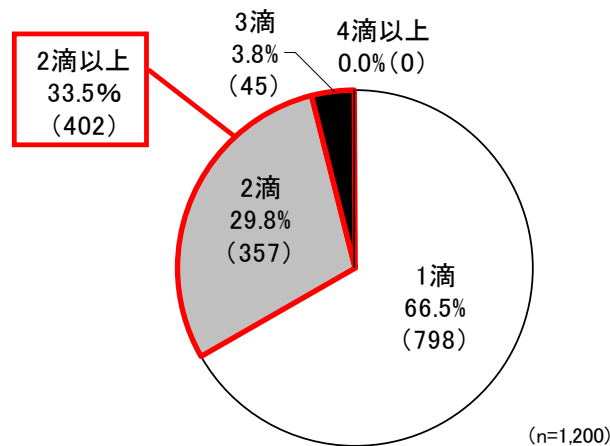
3. 調査の実施日: 2010 年 2 月 13 日(土)～2 月 14 日(日)

Ⅱ.調査結果のまとめ

■目薬を一度に何滴さしているか

「1滴」が66.5%(798/1,200人)、「2滴」が29.8%(357/1,200人)、「3滴」が3.8%(45/1,200人)、「4滴以上」が0.0%(0/1,200人)でした。「2滴以上」は合わせて計33.5%(402/1,200人)でした。

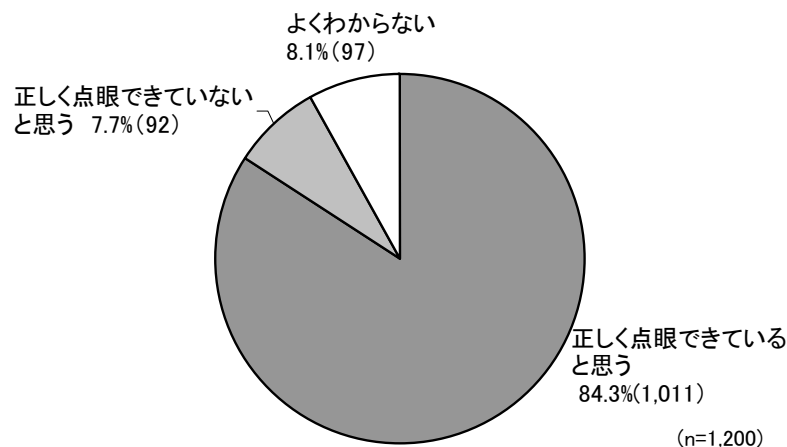
Q1:あなたは目薬をさす時、片目に一度に何滴*さしますか?最もあてはまるものを1つ選んでください。(※目の中に入れた滴数) [SA] n=1,200(全回答者)



■目薬を正しく点眼できていると思っているか<全体>

「正しく点眼できていると思う」が84.3%(1,011/1,200人)、「正しく点眼できていないと思う」が7.7%(92/1,200人)、「よくわからない」が8.1%(97/1,200人)でした。

Q2:あなたは、正しく点眼できていると思いますか?最もあてはまるものを1つ選んでください。
[SA] n=1,200(全回答者)

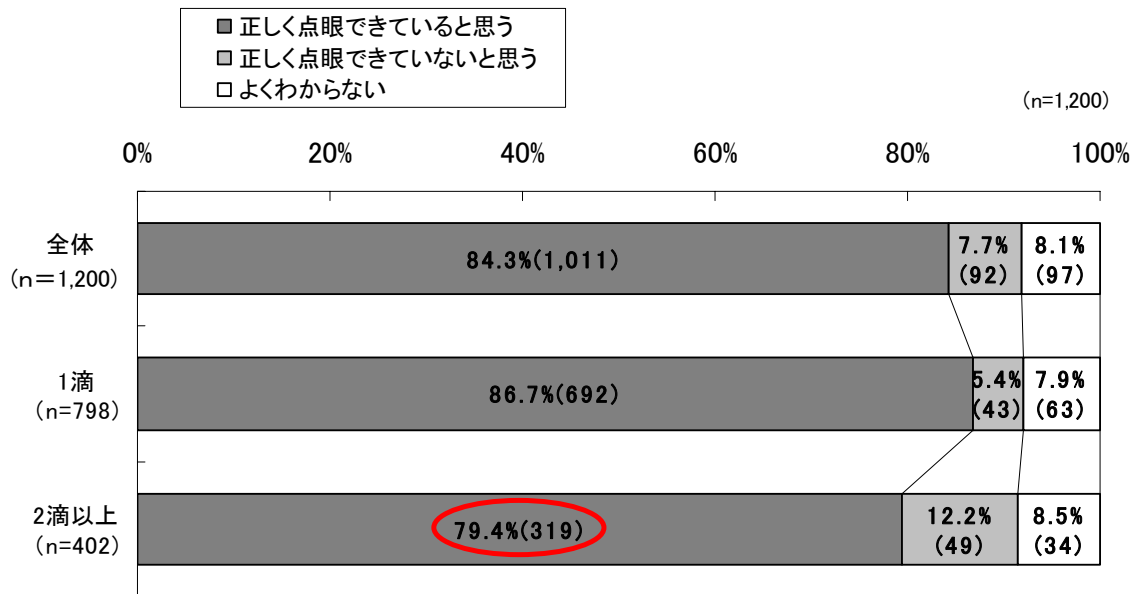


■ 正しく点眼できていると思っているかく点眼滴数別

2滴以上さしてしまうにも関わらず、正しく点眼できていると思っている人は79.4%(319/402人)でした。

Q2: あなたは、正しく点眼できていると思いますか？最もあてはまるものを1つ選んでください。

[SA] n=1,200(全回答者)

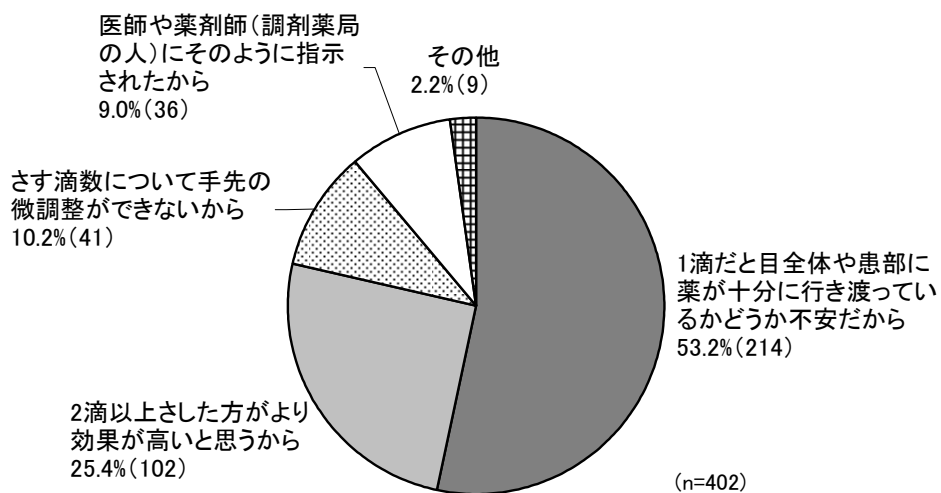


■ 一度に何滴もさしている理由

一度に2滴以上点眼する理由としては、「1滴だと目全体や患部に薬が十分に行き渡っているかどうか不安だから」が53.2%(214/402人)、「2滴以上さした方がより効果が高いと思うから」が25.4%(102/402人)、「さす滴数について手先の微調整ができないから」が10.2%(41/402人)でした。

<Q1で「2滴以上」さすと回答した人に対して>

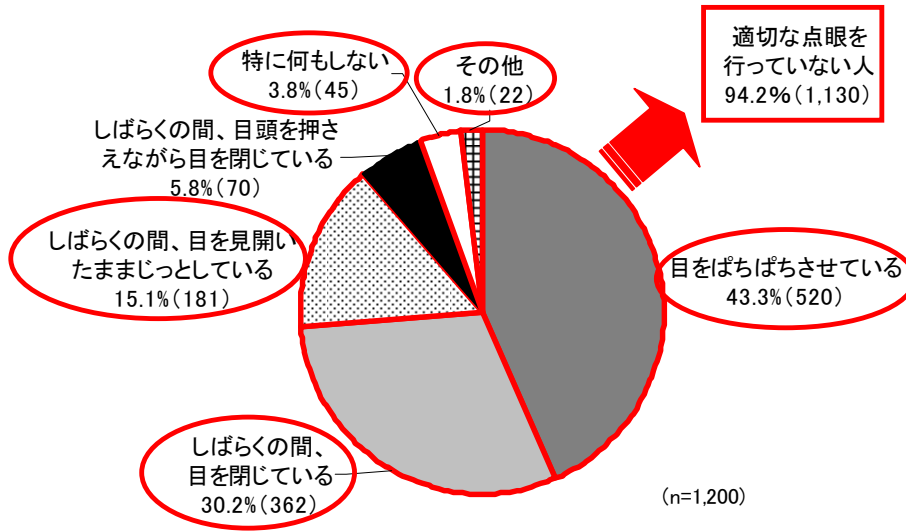
Q3: あなたがQ1で回答した滴数をさす理由について、最もあてはまるものを1つ選んでください。[SA] n=402



■点眼後の行動

点眼後、「目をぱちぱちさせている」が 43.3% (520/1,200 人)、「しばらくの間、目を閉じている」が 30.2% (362/1,200 人)、「しばらくの間、目を見開いたままじっとしている」が 15.1% (181/1,200 人)など、適切な点眼を行っていない人が合わせて計 94.2% (1,130/1,200 人)でした。適切な点眼方法である「しばらくの間、目頭を押さえながら目を閉じている」は 5.8% (70/1,200 人)でした。

Q4: あなたは上を向いて目薬をさした直後、どのような行動をしていますか？最もあてはまるものを1つ選んでください。[SA] n=1,200(全回答者)

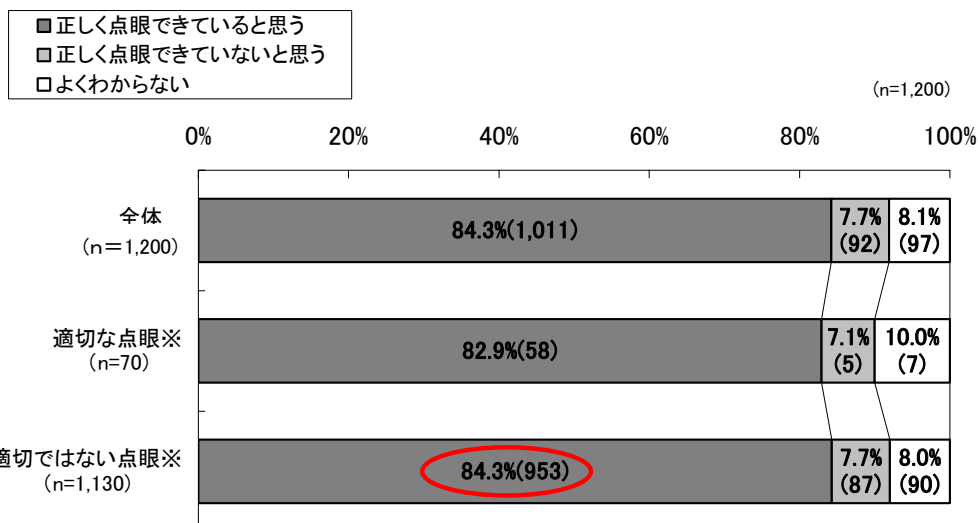


■正しく点眼できているとと思っているかく点眼後の行動別>

「目をぱちぱちさせている」、「しばらくの間、目を閉じている」、「しばらくの間、目を見開いたままじっとしている」など、適切な点眼を行っていないにも関わらず、正しく点眼できていると思っている人が 84.3% (953/1,130 人)でした。

Q2: あなたは、正しく点眼できていると思いますか？最もあてはまるものを1つ選んでください。

[SA] n=1,200(全回答者)



※適切な点眼: Q4 で「しばらくの間、目頭を押さえながら目を閉じている」と回答した人 (n=70)

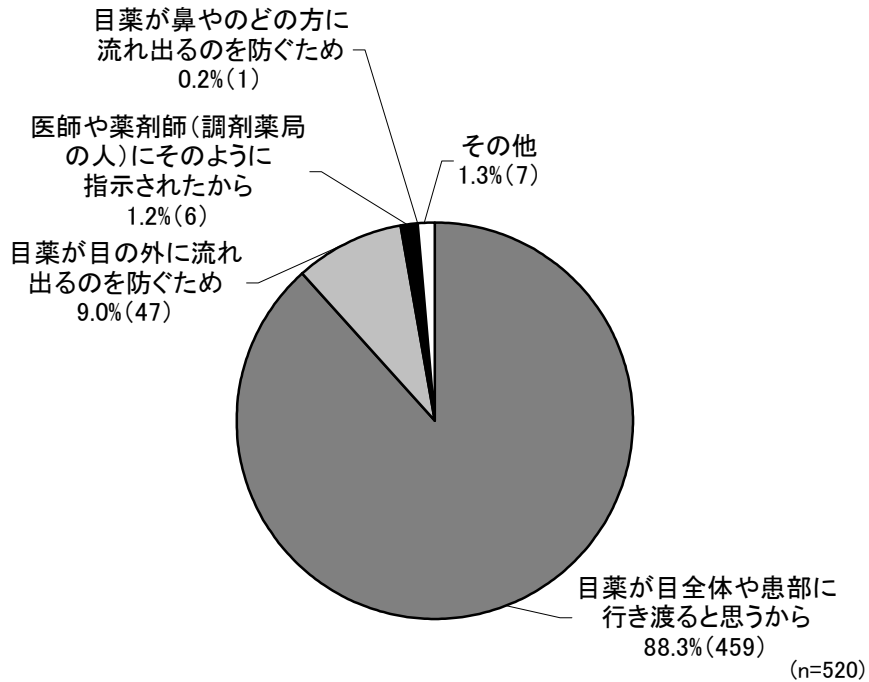
※適切ではない点眼: Q4 で「しばらくの間、目頭を押さえながら目を閉じている」以外を回答した人 (n=1,130)

■点眼後の行動の理由

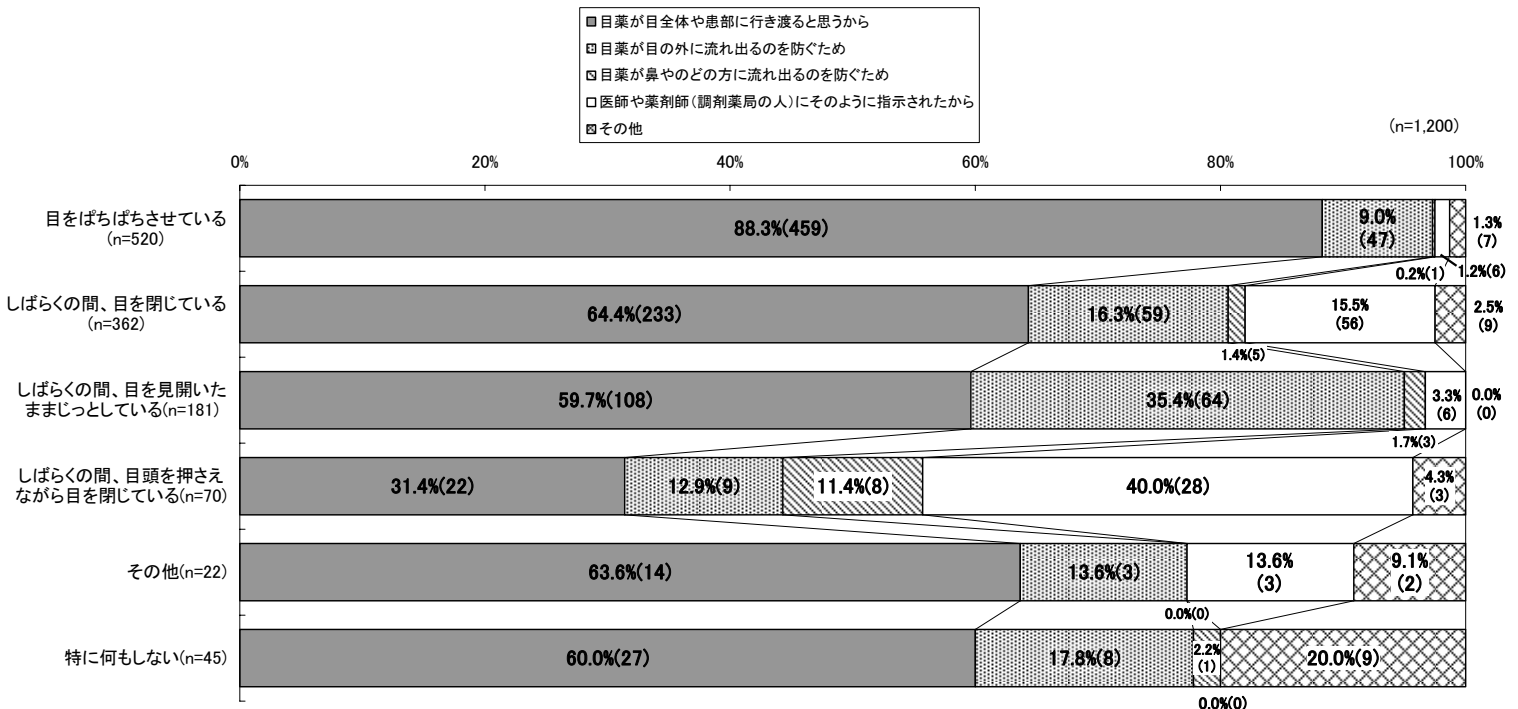
点眼後の行動として最も多い「目をぱちぱちさせている」理由について尋ねたところ、「目薬が目全体や患部に行き渡ると思うから」が 88.3% (459/520 人)、「目薬が目の外に流れ出るのを防ぐため」が 9.0% (47/520 人) でした。

Q5: Q3 で回答した行動をとる理由について最もあてはまるものを 1 つ選んでください。
[SA] n=1,200(全回答者)

<「目をぱちぱちさせている」と回答した人(n=520)>



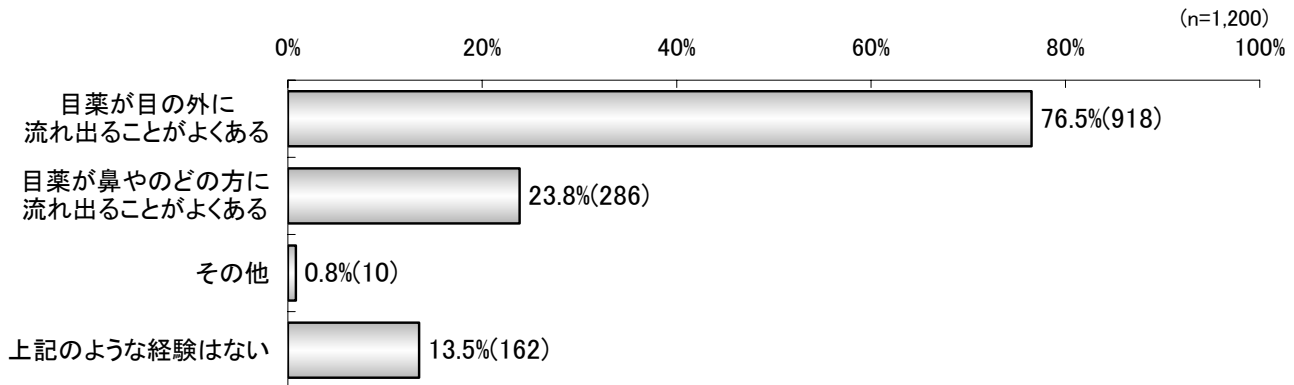
<点眼後の行動別(全回答者 n=1,200)>



■目薬の流出について<全体>

点眼後の経験として、「目薬が目の外に流れ出ることがよくある」人が 76.5% (918/1,200 人)、
「目薬が鼻やのどの方に流れ出ることがよくある」人が 23.8% (286/1,200 人) でした。

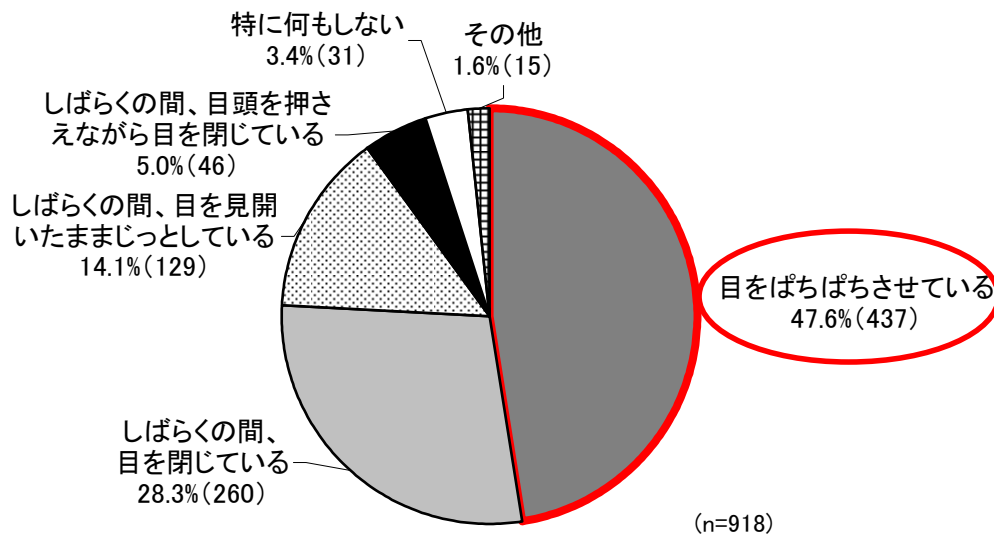
Q6: あなたは、Q3 で回答した行動の後、次のような経験をしたことはありますか？あてはまる
もの全て選んでください。[MA] n=1,200(全回答者)



■目薬の流出について<目薬が目の外に流れ出ることがよくある人>

「目薬が目の外に流れ出ることがよくある」人のうち、半数の 47.6% (437/918 人) が点眼後に「目をぱちぱちさせている」人でした。

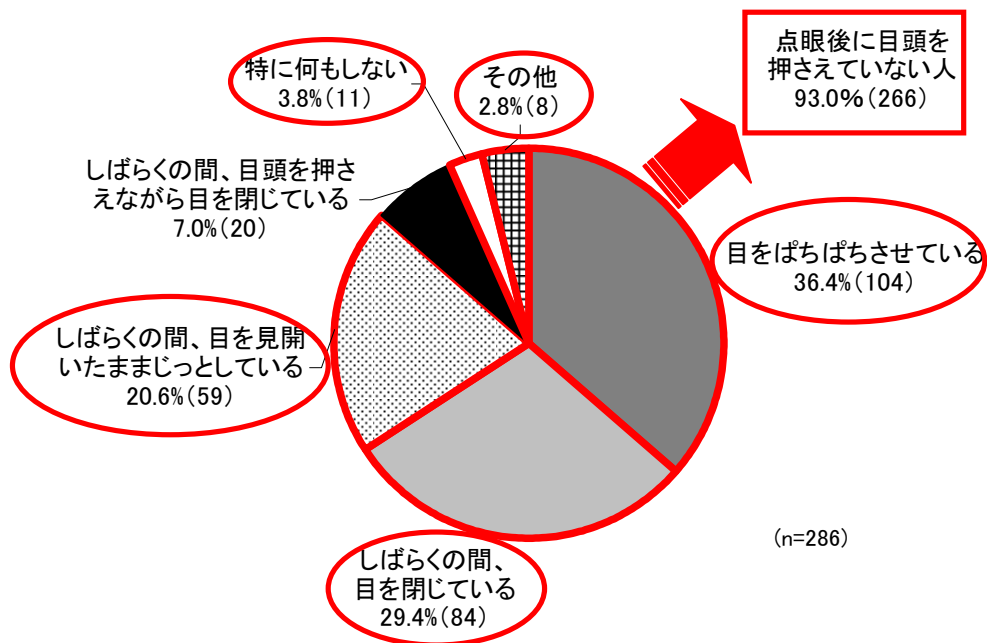
<目薬が目の外に流れ出ることがよくあると回答した人(n=918)>



■目薬の流出について<目薬が鼻やのどに流れ出ることがよくある人>

「目薬が鼻やのどに流れ出ることがよくある」人のうち、93.0% (266/286 人) が点眼後に「目頭を押さえていない」人でした。

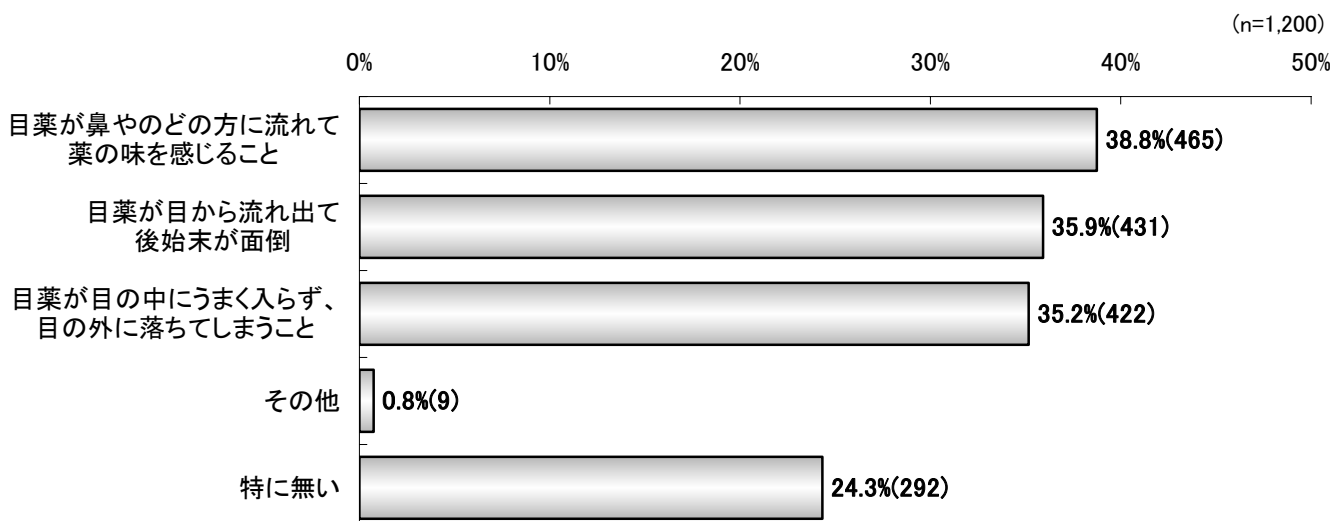
<目薬が鼻やのどに流れ出ることがよくあると回答した人 (n=286) >



■点眼時の不快な事について

目薬をさした時、不快に思ったこと(薬の使用感以外)について尋ねたところ、38.8% (465/1,200 人) が「目薬が鼻やのどの方に流れて薬の味を感じること」、35.9% (431/1,200 人) が「目薬が目から流れ出て後始末が面倒」、35.2% (422/1,200 人) が「目薬が目の中にうまく入らず、目の外に落ちてしまうこと」と回答しました。

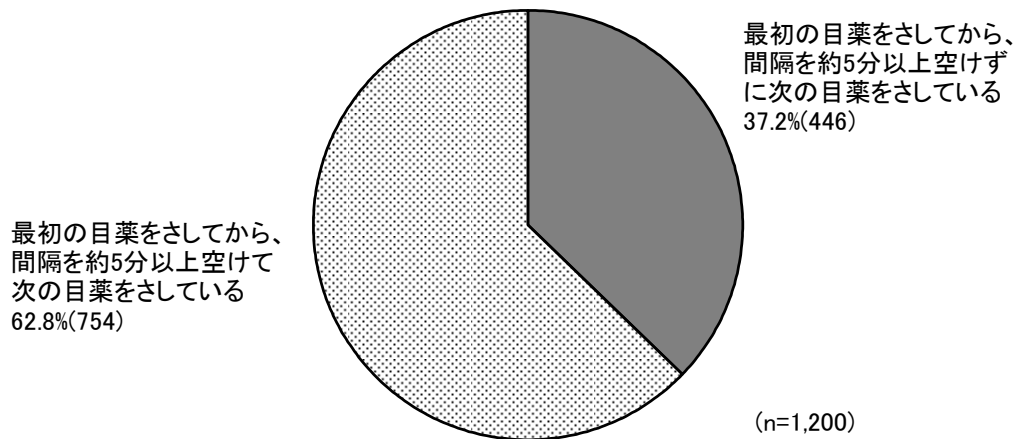
Q7: あなたが目薬をさした時、不快に思ったこと(薬の使用感以外)について、あてはまるものを全て選んでください。[MA] n=1,200(全回答者)



■複数点眼の際、十分に間隔を空けているか

複数の目薬をさす場合、約5分以上間隔を空けている人は62.8%(754/1,200人)、約5分以上間隔をあけずに点眼している人は37.2%(446/1,200人)でした。

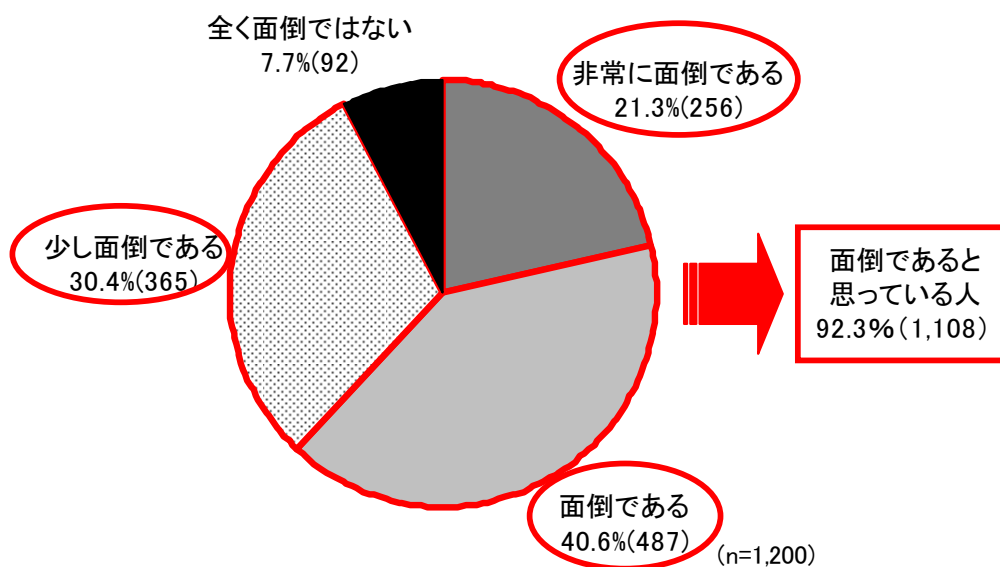
Q8: 複数の目薬をさす場合、2目以降の目薬をさすタイミングについて、最もあてはまるものを1つ選んでください。[SA] n=1,200(全回答者)



■複数点眼の際、5分以上間隔を空けることについて

複数の目薬をさす場合、約5分以上間隔を空けるのは、「非常に面倒である」21.3%(256/1,200人)、「面倒である」40.6%(487/1,200人)、「少し面倒である」30.4%(365/1,200人)を合わせ計92.3%(1,108/1,200人)が「面倒である」と回答しました。

Q9: 複数の目薬をさす場合、5分以上間隔を空けなくてはいけないことに対して、どのように思いますか？最もあてはまるものを1つ選んでください。[SA] n=1,200(全回答者)



■点眼時の失敗や服薬コンプライアンスについて

点眼時の経験として、50.2% (602/1,200 人) が「誤って目の外に点眼してしまう」、41.1% (493/1,200 人) が「点眼容器がまぶたやまつげに接触する」、38.6% (463/1,200 人) が「開封後1ヵ月以上経過した目薬を使ったことがある」と回答しました。

Q10: あなたは下記のような経験をしたことはありますか？あてはまるもの全て選んでください。

[MA] n=1,200(全回答者)

